

平成 26 年度 県央ブロック中学校夏季親善軟式野球大会

大会要項

- 1 期 日 平成 26 年 8 月 30 日 (土)、31 日 (日) 予備日 9 月 6 日 (土)、7 日 (日)
- 2 会 場 大和市立光丘中学校 (予備日：大和市立渋谷中学校)
- 3 参加資格 各地区代表 8 中学校に在籍するもので学校長の許可を受けた者
(厚愛 3、大和 2、座間・海老名・綾瀬各 1)
- 4 参加人数 各校選手 20 名 (背番号は 1～20) までとする。
- 5 引率者 当該校の教員 (校長・教頭・教諭・養護教諭のみ) とする。
- 6 参加申し込み 大会に参加するチームは当日に大会本部に参加登録用紙を提出する。
- 7 審 判 大和市市野球連盟審判部、県央ブロック審判部 (顧問教員) を中心に行う。
- 8 競技方法
 - (1) トーナメント方式、学校対抗とする。
 - (2) 全試合 7 イニングスとする。
 - (3) 得失点差 7 点以上によるコールドゲームは、5 回終了後に適用する。また、日没、降雨、その他の事情で試合続行不可能になった場合は、特別継続試合を適用する。
 - (4) 延長はなしとし、7 回を終わって同点の場合には特別ルール (無死満塁で継続打順) で決定する。
 - (5) 以下、神奈川県中学校野球大会運営規定に準ずる。
- 9 参加上の注意事項
 - (1) ユニフォームはきちんと着用し、髪は短く清潔に保つ。
(異装、頭髪の染色等禁止、専門部指導)

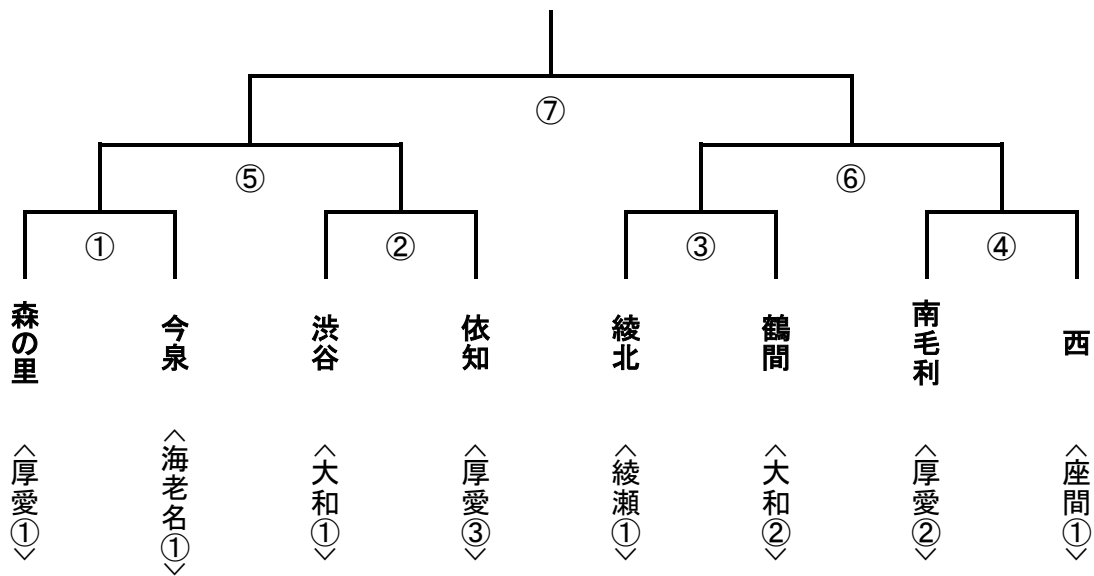
- (2) ジュースのビン類、カン類、パック類は持込み禁止とする。
- (3) ゲーム中、個人的な攻撃や野次はかたく慎むこと。
- (4) メガホンの使用は監督の教員および指導者のみとし、ベンチ内の選手は使用しない。
- (5) サングラスは野球用に限り、守備側の選手（外野手のみ）が使用してもよい（監督は不可）。
- (6) 捕手はレガース、ヘルメット、マスク、プロテクター、スロートガードを必ず着用すること。スロートガードと一体型の捕手用マスクの使用も可。
 - ・ブルペンやイニング開始前の投球練習時にも必ず着用する。
 - ・控えの捕手もレガース、マスクを必ず着用し、投手の球を受けること。
- (7) 打者は両耳付きヘルメットを危険防止のため着用すること。（走者も両耳付きヘルメットを着用すること）
- (8) メンバー交換は4回終了時に行う（メンバー用紙は4部作成し、3部を本部に提出）。
先発バッテリーのブルペン使用は4回終了時以降とし、ブルペンの使用は試合終了までとする。
- (9) 疾病・傷害に備えて各校救急用品を持参すること。
- (10) ランナーコーチ、シートノックの補助選手はヘルメットを着用すること。
- (11) シートノックを手伝う選手は登録選手以外に5名までとする。

10 地域指導者

- (1) 地域指導者をベンチに入れる学校は事前に専門部に所定の用紙を提出すること。
- (2) 地域指導者の抗議権は認めない。
- (3) 地域指導者は監督・選手と同一のユニフォームを着用する。
- (4) 地域指導者はシートノック等への参加は差し支えない。
- (5) 地域指導者は選手交代の申し出は不可とする。

- 11 天候判断 7時～7時15分（但し第1試合のチームは会場まで移動すること）
すべての会場 西村先生（鶴間中）

12 組み合わせ



1 日目 ①8:30～ ②10:30～ ③12:30～ ④14:30～

2 日目 ⑤9:00～ ⑥11:00～ ⑦ (⑥終了45分後)

13 その他

- ・本トーナメント優勝校を「文部科学大臣杯第6回全日本少年春季軟式野球大会 神奈川県予選 兼 第17回関東少年新人軟式野球大会神奈川県予選」に推薦する。

※1 監督会議	平成26年9月13日(土)	寒川総合体育館
※2 日程・場所	平成26年9月20日(土)、21日(日)、23日(火)	
	茅ヶ崎公園野球場、寒川町ふれあい公園野球場	

※この県予選の優勝チームは、神奈川県代表として、文部科学大臣杯第6回全日本少年春季軟式野球大会 関東予選へ経費自己負担で出場すること。

準優勝チームは、神奈川県代表として、第17回関東少年新人軟式野球大会へ経費自己負担で出場すること。

※なお、親善大会の優勝校が、県予選に出場できない場合は、以下の順で出場校を推薦する。

- I ①準優勝校→②優勝校に負けた3位校→③準優勝校に負けた3位校→
 ④一回戦で優勝校に負けた学校→⑤一回戦で準優勝校に負けた学校→⑥一回戦で②に負けた学校→⑦一回戦で③に負けた学校

Ⅱ トーナメントに出場したいずれの学校も県予選に出場できない場合は、

- ① 優勝した地区から、代わりの推薦チームを出す。
- ② 優勝した地区から代わりのチームを出せない場合は、次に上位入賞した地区から代わりの推薦チームを出す。

以下、出場校を出せるまで、上位入賞した地区順に権利を移し、推薦チームを出してもらう。

*また、雨天などによりトーナメントを最後まで行えなかった場合は、出場した8チームの中で県予選に出場可能なチーム同士で抽選を行い、推薦校を決定する。

(1日目の日程を消化できていれば、ベスト4に残ったチームの中で抽選。)

【連絡責任者】 県央ブロック軟式野球専門部長 細江 和央 (大和市立引地台中学校)